

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	牛小屋高原公園施設		
所在地	山県郡安芸太田町横川		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	ケビン、オートキャンプ場、フリーサイト等		
指定管理者	5期目	H30.4.1～R5.3.31	(株) 恐羅漢
	4期目	H25.4.1～H30.3.31	(株) 恐羅漢
	3期目	H23.11.1～H25.3.31	(株) 恐羅漢
	2期目	H21.4.1～H23.10.31	三段峡観光(株)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	三段峡観光(株)

2 施設利用状況

	年度		目標値 [事業計画]	入場者数 (有料施設)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	利用 状況	5期	R1	3,700人	5,029人	1,264人
H30			3,700人	3,765人	△ 317人	65人(101.7%)
4期平均 (H25.4～H30.3)		2,000人	3,515人	1,416人	1,515人(175.8%)	
2～3期平均 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)		2,000人	2,099人	168人	99人(105.0%)	
1期平均 H18～H20		—	1,931人	398人	—	
H17(導入前)		—	1,533人	—	—	
増減理由	大型連休の影響等によりオートキャンプ場(682人増)等の利用者が大幅に増加し、目標を達成した。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査 実施 内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	利用者 69人
	【主な意見】	【その対応状況】
	公園内のキャンプサイトの木々が繁茂しているので明るくしてほしい。	キャンプ場内の低木等の枝打ちを行い、環境改善に努めた。

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務実績報告書
	日報	—	緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議 (11月・現地)	【特記事項等】 新たなアクティビティ(ツリートレッキング)の設置		
現地調査(9月)	【指定管理者の意見】 新規利用者獲得のために、既存のジップラインアドベンチャーに加え、周辺の森林を利用し、ワイヤーやロープ等を用いたアクティビティの設置を検討している。		
	【県の対応】 新規自主事業を行うにあたって、許認可申請等に対する助言や広報活動に協力する。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	5期	R1	8,177	58		5期	R1	5,023	1,437
県委託料 (決算額)		H30	8,119	201	料金収入 (決算額)		H30	3,586	648
	4期平均 H25～H29		7,918	126		4期平均 H25～H29		2,938	1,671
	2,3期平均 H21～H24 2期 H21.4～H23.10 3期 H23.11～H25.3		7,792	△1,955		2,3期平均 H21～H24 2期 H21.4～H23.10 3期 H23.11～H25.3		1,267	△106
	1期平均 H18～H20		9,747	△929		1期平均 H18～H20		1,373	113
	H17(導入前)		10,676	—		H17(導入前)		1,260	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1 決算額	H30 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	8,177	8,119	58	消費税率増による増
		料金収入(※1)	5,023	3,586	1,437	オートキャンプ場等の利用者増による増
		その他収入	3,012	2,549	463	オートキャンプ場等の利用者増による物販の増
		計(A)	16,212	14,254	1,958	
	支出	人件費	5,120	4,074	1,046	利用者増に伴う臨時職員の増
		光熱水費	7,744	7,561	183	利用者増に伴う電気使用量の増
		設備等保守点検費	415	348	67	
		清掃・警備費等	12	17	△5	
		施設維持修繕費	215	245	△30	
		事務局費	526	223	303	利用申込書発注による印刷製本費の増
		その他	1,210	1,161	49	
	計(B)	15,242	13,629	1,613		
	収支①(A-B)		970	625	345	
	自主事業 (※2)	収入(C)		—	—	
支出(D)			—	—		
収支②(C-D)			—	—		
合計収支(①+②)		970	625	345		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体および指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	優れた自然環境を有効活用するため、ジップラインアドベンチャー等のイベントを実施し、利用者増につなげた。	自然公園の利用を促すイベント等の取組を継続して実施し、利用者増となる運営を行っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	食材をセットしたサービス提供等、キャンプメニュー作りに取り組んだ。	利用者の利便性向上につながるサービス提供に取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	安芸太田町及び地域商社あきおおたと連携したホームページやパンフレットによる広報活動に取り組み、キャンプ場の利用促進を図った。	各種広報活動に取り組み、利用促進に努めている。
	○施設の維持管理	設備等の点検を行い、側溝や電気柵等、必要箇所の修繕を行った。	修繕については、安全面や利用者に支障を及ぼすものを最優先に実施しており、また周辺環境に配慮するなど、適切な維持管理に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し		
	○効率的な業務運営	繁忙期等は、必要に応じて柔軟な人員配置を行うなど効率的な業務運営に努めた。	引き続き効率的な業務運営に努める必要がある。
	○収支の適正	オートキャンプ場の利用者増に伴い利用料金収入が増加したことにより、目標を達成し、黒字を確保した。	平成24年度以降、黒字を確保しており、今後も施設の利用促進を図るとともに、新規自主事業の展開等により、安定的な黒字運営を持続する必要がある。
総括		利用促進の取組により、利用者が増加し目標を達成した。	指定管理者が考案した利用者増加の取組(イベント実施, 自主事業など)の効果により、利用者数及び料金収入が増加しており、評価できる。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	利用者に好評なイベントを引き続き実施するとともに、新規のイベントを企画し、更なるリピーターの獲得を目指す。	アクティビティの導入等, 新たな企画の提案について支援する。
中期的な対応	木造施設については老朽化が進んでいるため、点検等安全確保に努めるとともに、県と協議しながら計画的な修繕を行っていく。	指定管理者と連携し、必要な修繕等に取り組んでおり、引き続き優先度の高い施設から計画的に対応する。